



羽乃宮翼

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

闇

### 【Nコード】

N0193C

### 【作者名】

羽乃宮翼

### 【あらすじ】

闇になりたいと思う子供の気持ちとしてこれを読んでください。何を考えて子供は闇をのぞむのか。きっと色々子供も子供なりに考えているんですから。

彼女は光となった。  
彼女は風になった。  
彼女は花になった。

ならば俺は闇となろう。  
すべてを閉ざす闇ではなく光を輝かせる闇と。

俺の光は彼女ではなく家で暖かく待っていてくれるあいつらだから。  
俺が初めて手に入れた家族だから。

だから闇になりあいつらをやさしく包み込みあいつらを見守ってい  
たいと思う。寂しくないように。

ずっとずっと。

だから俺は闇になろう。

俺にとって大切な家族を・・・光を輝かせるために。寂しくならな  
いように。

そつとやさしく包んでいてやろう。

悲しまないでほしいからずっとそばにいてあげよう。

これくらいの些細な願い叶えてくれても・・・願ってもいいよな？

ずっと寄り添っていたいから。

俺を愛してくれるから。

どうか取り上げないでください。

どうか悲しみをもたらさないでください。

俺はただあいつらの傍であいつらの笑顔が見たいだけなんだから。

悲しみに歪んだ顔が見たくないから。

俺がいなくなっても悲しまないでほしいから。

だから・・・。

だから・・・。

俺は闇になろう。

ずっと傍にいるから。

やさしく包んであげるから。

だから悲しみにとらわれずに笑顔でいてほしい。

笑顔で生きるためなら俺のことを忘れてかまわないから。

だから悲しむな。

泣くな。

俺はずっと傍にいるから。

ずっと見守っていると約束するから。

俺は寂しくないから。

おまえらという光を手に入れて俺は寂しくなくなったから。

だから俺はおまえらを見守っている。

光によりその闇として。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0193c/>

---

闇

2010年10月11日11時57分発行